

あずま北小学校

かわら版

学校通信

- ・よく考える子
- ・思いやりのある子
- ・たくましい子

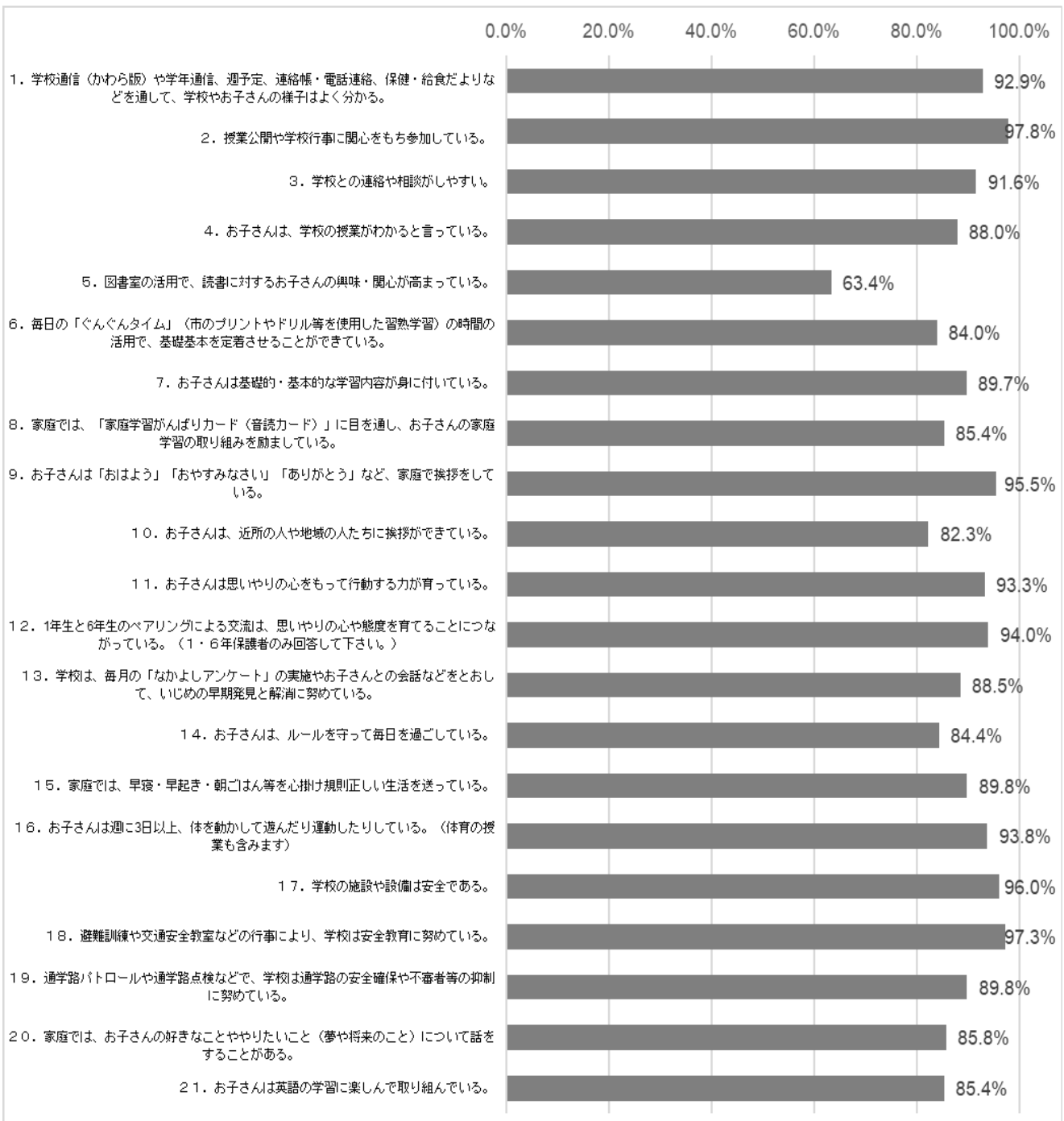


第17号
R7.12.24

いい顔 いい声 いい心

第2回学校評価保護者アンケート結果

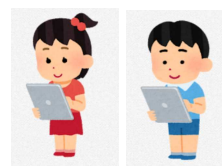
過日実施いたしました、学校評価保護者アンケート結果がまとまりましたのでお知らせいたします。割合は、「よくあてはまる」と「ややあてはまる」の合計です。



保護者アンケートの結果から

児童数 430 名中、227 件の回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。アンケートの回収率は第 1 回の 66 %より、13 ポイント低い 53 %となりました。回答開始の直後にフォームに入れないということがあり、ご迷惑をかけたこととお詫びいたします。

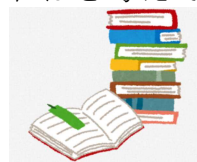
さて、ほとんどの項目において、今年度第 1 回の結果と同程度の評価をいただくことができましたことを報告いたします。項目 3 の「学校との連絡が相談しやすい」においては、3.6 ポイント増の 91.6 %となりました。引き続き、誰もが声をかけやすい、相談しやすい、遠慮なく話せるような学校、学校職員でいられるよう教育活動に取り組んでいきたいと考えています。項目 7 の「基礎的基本的な学習が身につけている」では、前年度の評価から徐々に上がってきており、今回も 1.7 ポイントの増で 89.7 %となりました。授業は基本的な学習を徹底し個別指導なども柔軟に取り入れています。対話を生かした発展的な学習やタブレットの活用など ICT スキルも身につけてきています。また、家庭学習において、宿題等をていねいに見ていただいていることも、この結果につながる大きな要因であると考えています。項目 13 の「いじめの早期発見と解消に努めている」では昨年度に比べ第 1 回、第 2 回と数値が上昇してきています。今回は 2.5 ポイント増の 88.5 %となりました。学校では引き続き、協力し合うことの大切さ、温かい言葉かけ、相手の考えや違いを受け入れ認め合うこと、またそれらを目的とした活動など、教育現場の常時指導として児童たちの人権意識を高めることに努めていきたいと考えています。



今回の結果の中でもっともポイント減少の幅が大きかったのは、項目 20 の「好きなことややりたいこと、夢や将来のことについて話をすることがある。」でした。2.8 ポイント落ち込む結果となりましたが、学校においては、道徳や学活のキャリア関連の学習、教育実習生や体験活動で来る上級学校の生徒たちとの交流などからも、将来はどんなことをしてみたい、そのためには何をしたらいいのだろうと、様々な考えを抱けるような機会を設けています。今後とも学校、家庭が協力をして、夢の実現につながる力を身に付けられるよう、継続して努力できたらと考えています。

児童用アンケートの結果から ※主な内容について紹介します。

全体的な結果としては、数値の減少が多く見られました。2 から 3 ポイント程度の数値減がほとんどでしたが、「漢字算数コンテストの合格を目指し勉強している」、「家庭学習がんばりカードに毎日欠かさず記入しながら取り組んでいる」、「火災や地震のとき、どこを通ってどこに避難するかわかる」については 4 ポイント以上減となりました。数値の減少にはなりませんが、コンテストでは賞状を用意し、各学年が全員合格を目指し、取り組んでいる様子が見られました。家庭学習カードでも、それを日々の取り組みとしていくことで、学習の習慣化が促されています。避難訓練では細かな予告なしで、より実際に近い形式で取り組む方法を試みました。どれも引き続き実践し、継続的に結果を把握していく必要があるものです。随時、よりよい方法は何かを考え、適切に判断していければと考えています。読書への興味関心については、保護者 63.4%(1.3%減)児童 81.5%(1.0%減)でした。朝読書を始め、調べ学習での図書室活用、6 年生や図書委員による休み時間の読み聞かせなど、本に親しむ活動を実施しています。3 学期は保護者ボランティアによる読み聞かせも始まります。今後も読書意欲を高める活動を行っていきます。



数値の増加としては、「友だちに親切にできている」が、1.4 ポイントの増となりました。なかよしアンケートの実践やそれに応じた速やかな対応、一人ひとりへの日頃の声かけ、道徳授業の充実などを通し、集団の中の一人であることを知り、人を思いやる心の大切さを育てていきたいと考えています。



また、いただいたご意見を参考にしながら、子どもたちがよりよい学校生活を送れるよう、指導改善していきますので、今後ともご協力とご理解のほど、よろしく願いいたします。